

# 平成 29 年度（第 1 回）久留米市食料・農業・農村政策審議会 議事録

日時：平成 29 年 7 月 28 日（金）13:30～15:00

場所：久留米市本庁舎 3 階 305 会議室

出席者：福田会長、森委員、白石委員、松田委員、吉田委員、野村委員、井上委員、  
田中委員、中野委員、大坪委員、中園委員、池田委員、吉永委員、  
矢次委員、高尾委員 以上 15 名

（欠席者：宇佐川委員、米倉委員）

事務局：農政部 山口部長、半田次長、農政部農政課 中尾課長、堤主幹、  
田川課長補佐、松延主査、石井、生産流通課 山手課長、  
みどりの里づくり推進課 中山課長、古賀主幹、農村整備課 古賀課長、田中主幹、  
中央卸売市場 白谷課長補佐、農業委員会事務局 横溝局長、千代田主幹  
みどりの里づくり推進機構 古賀局長、

傍聴者：なし

次 第：1. 新任委員紹介

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 第 2 期食料・農業・農村基本計画【平成 28 年度 実績報告】

(2) 第 2 期食料・農業・農村基本計画【平成 29 年度 実施計画】

(3) 農業委員会体制の変更について

4. 情報提供（委員及び事務局から）

## 1. 新任委員紹介

委員	新任委員紹介（4 名） ・久留米普及指導センター センター長 森委員 ・日本政策金融公庫福岡支店農林水産事業 事業統轄 白石委員 ・株式会社 筑邦銀行 執行役員、ソリューション事業部長 松田委員 ・久留米市農業委員 田中委員挨拶
----	--

## 2. 会長挨拶

福田会長	挨拶
------	----

## 3. 報告事項

### (1) 第 2 期 食料・農業・農村基本計画【平成 28 年度 実績報告】

事務局	【配布資料 平成 28 年度 実績報告 説明】
A 委員	目標値設定について、どのような根拠で設定したのか。
事務局	この基本計画を市民にわかり易く、理解していただくために、数値目標を積極的に取り入れている。目標値の設定については、審議会委員の皆様の見解をいただきながら、過去の推計を踏まえ設定している。
B 委員	審議会委員として、数値目標を設定に携わってきた。過去のデータを参考にしながら、様々な議論を重ねてきた。

A 委員	「くるモニ」の調査の方法はどのようにされているのか。
事務局	久留米市が毎年実施している「市政アンケートモニター」のことで、H28年度は、約350人分のモニターに対し、インターネットや郵送にてアンケート調査を実施している。
C 委員	そのモニター調査で選ばれる方は無作為に選ばれているのか。
事務局	久留米市内に在住する満20歳以上の方を無作為に抽出し、モニターの募集を行い、調査員として選任いただいている。
C 委員	青年就農就農給付金は63名の方が対象者となっているが、その地域や作物は、わかるか。
事務局	青年就農給付金制度は、H24年度から開始され、H28年度については、63名に新規就農者が受給している。一定の所得をオーバーしない限り5年間支給され、制度も毎年変わってきている。地域的には63名のうち約40名がJAくるめ管内。品目として、多い作物は、レタス等の露地野菜で、青年就農給付金対象者に限らず新規就農者の中では、露地野菜が最も多い。

(2) 第2期 食料・農業・農村基本計画【平成29年度 実施計画】

事務局	【配布資料 平成29年度 久留米市 食料・農業・農村基本計画 実施計画の概要 説明】
D 委員	<p>国の政策により、H29年度から米の生産調整が自主的な調整に変わっていく。この政策を受け、米の直接支払交付金が廃止され、これまで50ha以上の作付けをおこなっていた集落営農法人も米麦だけでなく、野菜の作付けにも取り組むようになった。経営基盤の強化を図るために、米麦のほ場については、経営転換を考えなくてはならない時期にきている。</p> <p>また、先程、説明があった生産基盤整備事業の中で、暗渠排水の整備については、早急に取りかかって欲しい。昨年10月に集中豪雨に見舞われ、一瞬にしてリーフレタス等が被害を受けた。排水の整備をすることで湿害に対する農産物の強化を図ることができる。</p> <p>本計画では、集落営農法人をH31年度までに45法人にまで増やすことを目標に掲げているが、補助率が高いWCSなどの飼料米へ経営転換によって、集落営農法人に機械利用料が入らなくなっている。そういった問題も解決しないと集落営農法人も増えていかない。</p>
事務局	<p>米政策に関しては国の政策によるところが多い。これまで米の直接支払い交付金として10aあたり7500円、米を生産すると交付金が支払われていたが、来年から廃止になる。先ほど委員からございでしたが、WCSという畜産の家畜に食べさせる稲の藁の状態の物が、10aあたり8万円、国から交付金が出ている。国の価格設定によって非常に大きく左右されるといった側面があるが、国は生産調整をしない代わりに、米の過剰生産を避けるため、WCSなど米以</p>

	<p>外の飼料用作物に対し、8万円を交付している。委員からもご指摘がありましたが、新たな課題が各地域で発生していると聞いている。いずれにしても、米政策の問題につきましては、実際に水田利用をされている農業者やJAなどで構成される久留米市水田農業推進協議会で、しっかり久留米の水田経営のあり方について協議をしていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>生産基盤整備事業は平成24年度から実施をしている。今年度は、宮ノ陣・安武、大善寺南部を計画している。この事業は、土地改良区等を事業主体としており、要望がある場合には、ご相談ください。</p>
E委員	<p>緑化木振興対策事業とあるが、つつじの名所再整備事業で使われるつつじは久留米で生産されたものを使用するのか。</p>
事務局	<p>緑化木の振興のためにも、できる限り久留米産のつつじを使用することとしている。</p>
D委員	<p>JAくるめのサラダ菜部会がグローバルギャップを取得している。しかし、取得したものの、PRしての販売ができていない。農商工連携などで、効果的なPRができないか。</p>
F委員	<p>そもそも、グローバルキャップが何か知っているものが少ない。サラダ菜部会がグローバルキャップを取得したことをPRする前に、まずは、グローバルギャップというのをもっと宣伝すべきではと考える。大分で白ネギがグローバルギャップを取得しているが、市場での価格差はほとんどない。もう少し全国レベルでグローバルキャップを宣伝していくべきだと思う。</p>
G委員	<p>グローバルギャップは、グローバルなマーケットでないと評価されないと思う。東京オリンピックでグローバルギャップの取得に力を入れているのは、グローバルなマーケットが期待できるから。グローバルギャップを取得しても、マーケットを定めないと、高く売れることは出来ないと思う。国内ではほとんど差が無い。マーケットを定めてやっていった方が戦略的だと思う。</p>
B委員	<p>最近では、韓国や中国などから検診に来られる。特に中国の山東省は、人口が約1億、今後その40%は高齢化していくといわれており、健康志向も非常に高い。また、日本の野菜や調味料などに非常に興味を持っている方も多く、どこに行けば久留米の物が買えるかとよく尋ねられる。シティプラザでは、国際学会をはじめ、様々な全国の学会が開催されている。来年も看護学会が開催される予定。そういった機会にでも、何かPRできる物があると、久留米産農産物のブランド化が一層進むと思う。</p>
事務局	<p>農商工連携の取り組みですが、サラダ菜は、サラダ以外の食べ方があまり知られていない。そこで今年度は、商工会議所主催のアイデアレシピコンテストでサラダ菜の活用をお願いしたところ快諾いただいた。また、8月に開催される青年会議所九州地区大会におい</p>

	でも久留米青年会議所にサラダ菜の PR をしていただけることになっている。他に、市内のホテルでも何かフェアができないかと言った声も聞いているので、今後広げていきたいと考えている。
G 委員	東京の新橋でアンテナショップ「福岡 くるめ館」がオープンしたが、非常に魅力的なお店ができると思う。そのエリアは、アンテナショップの激戦区の一つなので頑張らなければならない。アンテナショップなので、お客様のニーズをどのようにして掴むかという情報収集が非常に大事だと思う。情報収集に対する機能は備わっているのか。
事務局	8 月に久留米産農産物の特別企画をアンテナショップで開く予定。そういった機会にアンケートなどを実施したいと考えている。
G 委員	せっかくアンテナショップがあるので、恒常的にデータを把握することが出来れば、私たちも常に連携しているので、東京のニーズに関する分析も恒常的にできるのではと思う。

(3) その他

事務局	【配布資料 農業委員会体制の変更について 説明】
-----	--------------------------

4. 情報提供

事務局	【なるほど人権セミナー、アンテナショップ 福岡久留米館 について案内】
-----	-------------------------------------